

2007.6

三多摩山スキークラブ 会報

6月号 170



2007年6月10日 発行

三多摩山スキークラブ

会長 川上 邦夫

〒180-0013 武蔵野市西久保 3-25-7-303

Tel& Fax 042-253-7289

<http://www.asahi-net.or.jp/~xi7m-ootk/backnumber.htm>

2007,4,27(金)夜~29日(日)

至仏山山スキー

報告書は



「木曾御嶽山・乗鞍岳」山行報告

2007年5月3日(木)～5日(日) 前夜発2泊3日

報告書は





2007/5/3~5/6



2007/5/3~5/6

鳥海山山スキー



目次

至仏山山スキー	-----	2
「木曾御嶽山・乗鞍岳」山行報告	-----	3
鳥海山	-----	4
目次	-----	6
今月の表紙	-----	6
インフォメーション	-----	7
行事案内(なし)	-----	
行事報告	-----	8
至仏山山スキー報告	-----	8
「木曾御嶽山・乗鞍岳」山行報告	-----	10
鳥海山山スキー報告	-----	12
近況報告	-----	14
鳥海山山スキー(川崎 敏)	-----	16
例会・運営委員会報告	-----	17
スキー協関係	-----	18
編集後記	-----	19
行事案内/申込書		
(無)		

今月の表紙

私たちのクラブと、ホワイトベア皆森さん、秋田の牧さんが参加し、三多摩としては久しぶりの鳥海山、以前は、山小屋で自炊だったのが温泉で、暖かい布団の中で寝れるとは。しかし、天気は、厳しかった。山頂はやはり独立峰、甘くありませんでした。といっても少し下ってく

ると広大な雪面、雄大な景色。天候の悪化で頂上まで行けなかったのは少し残念。葎川から駒ノ王子へのブナの樹林もなかなか楽しかった。ブナ林でゆったりとしたコーヒープレークも良いだろうと思われた。また、いつの日か快晴に恵まれる鳥海山春スキーを期待して…。

インフォメーション

例会			
----	--	--	--

6月例会

日時 6月13日(水) 午後7時30分～

場所 国分寺労政会館 (042-323-8511)

主要内容 今シーズンを語り、来シーズンへ(総会に向けて...)

			主要内容
7月	日		7月の例会は、休会です。

総会の開催日程が決まりました

日時 7月8日(日) 午後1時00分～

場所 国分寺労政会館 (042-323-8511)

主な議題

今期の活動について
来シーズンへ向けて
役員改選、他

万障繰り合わせ出席されるようお願いいたします。

運営委員会					
6月	16日	(日)	午後1時00分～	国分寺労政会館 (042-323-8511)	

三多摩等行事予定					

スキー協関係				問合せ先
6月	24日		東京スキー協 総会	

至仏山山スキー報告

(日 程) 2007,4,27(金)夜~29日(日)

(宿 泊) 沼田健康ランド
山の鼻至仏山荘

(交 通) 二階堂車

(参加者) L二階堂耕司、SL伊達定治、斉藤シゲ子、堀内享子、山口千冬子(ゲスト)

(行 程)

4/27(金) 20:30 JR八王子駅南口 圏央道・関越道 沼田健康ランド(泊)

4/28(土) 7:00 沼田健康ランド 8:30 鳩待峠 9:30 11:00 オヤマ沢田代 12:30 小至仏山
13:20 至仏山 14:20 至仏山荘(泊)

4/29(日) 7:40 至仏山荘 10:50 至仏山頂 11:30 13:15 鳩待峠 13:50 20:30 東京



(山行概要)

この山行は、担当者が未定で具体化されてなかったが、行事計画表には当初からあったもので、連休後半のハードな山行に対して、誰でも参加しやすいものとの位置づけで急遽企画された。したがって、最初は鳩待峠又は山の鼻から至仏山に登りムジナ沢を滑る計画だったが、参加者の伊達さんから勿体無いとの提案があり、ワル沢滑降を加えた計画に練り直した。参加者の足もほぼ揃っており変更しても問題なかった。

4/27(金) 夜八王子駅集合、沼田まで。

前泊の沼田健康ランドは、武尊山行での宿無し事件時に宿泊したことがあって、今回利用することにしたもので怪我の功名である。

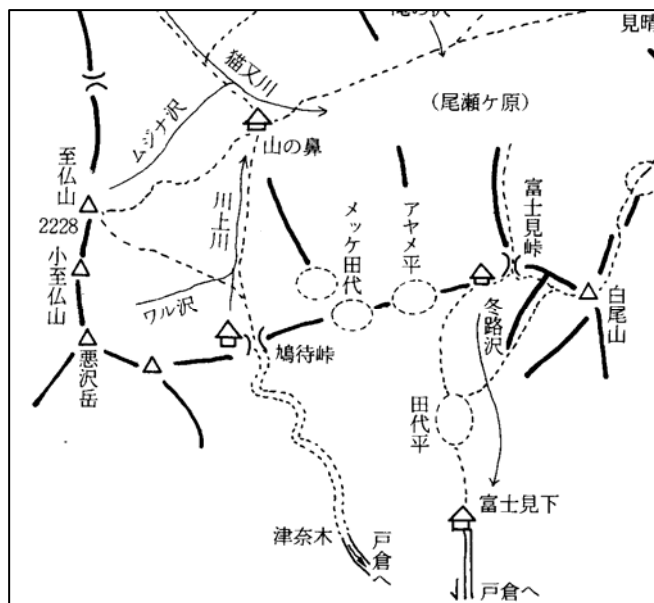
4/28(土) 曇り

鳩待峠への道は戸倉を過ぎてしばらくすると雪道となり、ラッキーなことに周りの木々は前夜に降った新雪ですっかり雪化粧して真冬のいでたちだ。ノーマルタイヤに履き替えるのが早すぎたかなと思うも、なんとか無事鳩待峠に着く。広い駐車場はほぼ満車状態。

出発時には激しく降っていた雪も、1時間ほどで止んで薄日もさす。オヤマ沢田代あたりでは晴れ間も見えたが、昼食をとり小至仏山に向かう頃には再び悪化、吹雪で視界も悪くなる。小至仏山から先は更に悪くなり、視界20~30mといったところか。

視界が悪いので尾根を忠実にたどったのは良いが、至仏山頂近くの小ピークで現地確認にちょっと手間取る。頂上ならあるはずの標識が無い。そうこうしているうちに別のパーティーがGPSで確認して、頂上はこっちだといって北の方向に下っていった。我々もこれに続いたが、少し下りほんのひと登りで目指す頂上であった。

晴れていれば何とも無いことが、吹雪かれると視界が阻まれこういうことになる。頂上はさらに風が強くなり、招かれざる雷鳴まで聞こえてきた。しかし多少吹雪かれても地形は解りやすいし、ここまで来た





ら山の鼻に下るのが一番安全確実である。長居は無用すぐに下ることにする。

山の鼻への下りは滑り出しが一番難しい。ポイントは頂上から東側に延びている小尾根をどう下るかである。晴れていれば、右からでも左からでも岩の無いところを選んでムジナ沢上部を目指して一気に滑れば問題無いが、視界が悪い時はコース取りを間違えると岩が多く危険である。

今回は、このコースを最近滑った伊達さんの先導で心強い。暖冬のためか雪の付いてない低木の上を移動することもあったが、吹雪の中ほぼ的確なコース取りで無事ムジナ沢に入る

ことができた。視界が悪い時の先頭を滑る困難さは、2番目以降を滑る比ではない。

ムジナ沢では標高1600m位のところから右側の樹林帯に入った。こちらは風が無く樹間も広い快適な滑りを楽しみながら山の鼻の至仏山荘に無事到着。吹雪の時は樹林帯がグッドだ。至仏山荘は改装されとてもきれいだ。風呂もあるし、コタツのある談話室はアットホームな雰囲気、宿泊客どうしの会話も弾む。

4/29(日) 晴れ

前日はうって変わって快晴だ。ワル沢滑降のため登り返す至仏山、東北一の高さを誇る燧岳やはるか平が岳へと続く景鶴山の尾根等々が紺碧の空に輝いている。

最初の樹林帯の登りは暑さとのたたかいだ。樹林帯が突然終わると視界がいっぺんに開け、登り来し後ろを振り返ると尾瀬ヶ原が箱庭のように広がり、右側に前日滑ったムジナ沢がドーンと落ち込んでいる。途中から沢に入って登る人もあるが、登りが多くなるだけでその必要は全く無いと思う。

至仏山頂も快晴で平が岳や会津駒ヶ岳から、遠く上越の山々から東北南部の山まで一望千里だ。

頂上に着くや待ち合わせたように、鳩待峠から一人で登ってきた近藤さんにばったり会う。しばし情報交換をした後、このラッキーボーイと一緒に写真に納まる。狭い頂上に40~50人はいるであろうか。鳩待峠への下りでも途中で何十人という登山者と行き違った。晴天の休日だと頂上は100人位の人であふれるという。

至仏山からの下りは稜線の東側をトラバース気味に下るが雪質は悪くない。ワル沢上部はグーンと開けたオープンバーンで、斜度もいろいろあり好みに応じてどこでも滑ることができるが、雪質は少し重い。この沢はかなり下部まで無木立で楽しそうだ。

我々は、雪不足で下部の沢を渡るのがどんな具合か心配したのと、鳩待峠への急な登り返しを避けようと、1600mぐらいまで滑り夏道の尾根を目指してトラバースすることにした。オヤマ沢の上部を通り、小さなアップダウンを繰り返して、このトラバースは結構長かった。楽しさという点では、上り返しはあるものの一番下まで滑った方が良いのかもしれない。途中ポカポカ陽気の春山の景色を楽しみながら、ゆっくりランチタイムを取り、写真を撮ったりしながらゆっくりとくだる。



鳩待峠に着くと路面の雪はすっかり消え、ポカポカ春の陽気になっていた。なお、鳩待峠の駐車場は有料で、初日1500円、2日以降1000円だが、宿泊した小屋で駐車券に証明をもらってくると2日以降の分は無料になる。帰路沼田で一浴して20:30無事帰京。

2日以降の分は無料になる。帰路沼田で一浴して20:30無事帰京。

無事帰京。

(二階堂記)

「木曾御嶽山・乗鞍岳」山行報告

【期 日】 2007年5月3日(木)～5日(日) 前夜発2泊3日

【参加者】 L 高畠 SL 笹木 Mg 堀内 吉原

【宿泊地】 プチピラmt御嶽 0264-44-2416

経過

5月2日(水)

20時八王子出発、連休前日とあって八王子ICはもう混雑している。12時スキー場手前にある池の沢無料休憩場でテントを張り仮眠をとる。笹木さん合流。

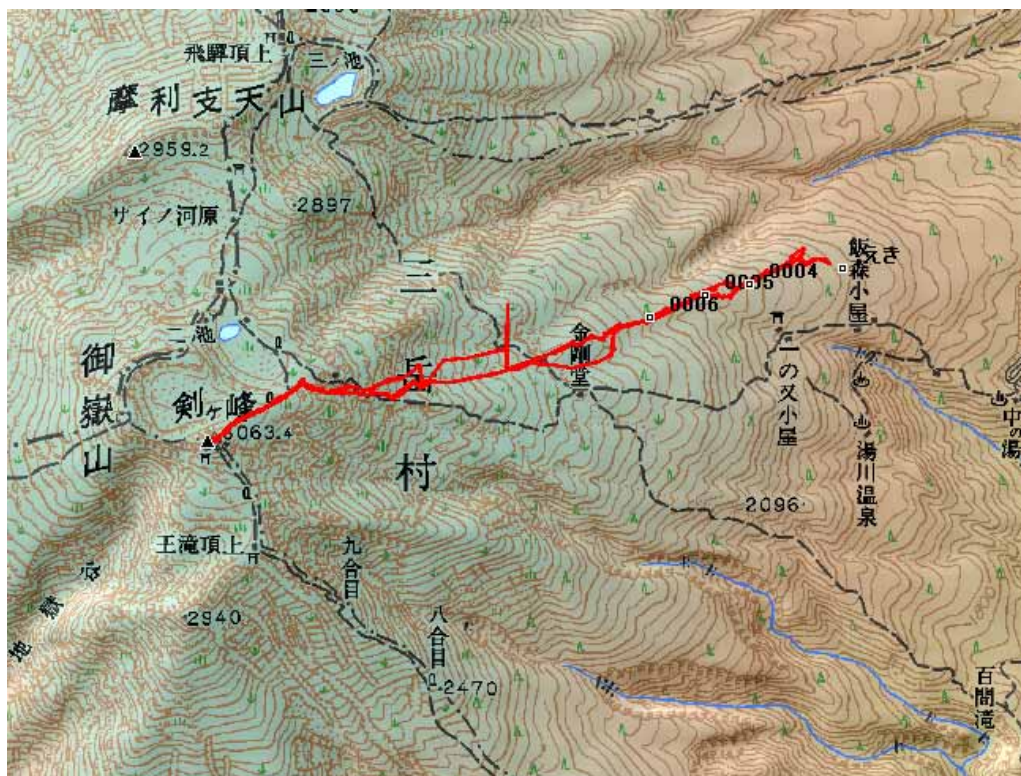
5月3日(木)

テント場より約20分位で御嶽ロープウェイスキー場、駐車場はやや込んでいます。この時期は一番上のリフトのみが動いている。

9時5分 = 山頂駅(2150m)より出発。天気快晴、展望抜群、南ア、中央ア、北ア、乗鞍、富士、八ヶ岳が素晴らしい。樹林帯の中を黙々と歩く。赤布が多すぎるくらい目に付く。10時 = 2490m地点、前回敗退した

所を通過。森林限界を越すと眼前に広大なゲレンデに飛び出す。左手に「女人堂」が見える。その鞍部をめざす。「石室山荘」直下で三人がアイゼン歩行、二人がクローで稜線直下をトラバース気味に巻きながら稜線に出る。風が強くス

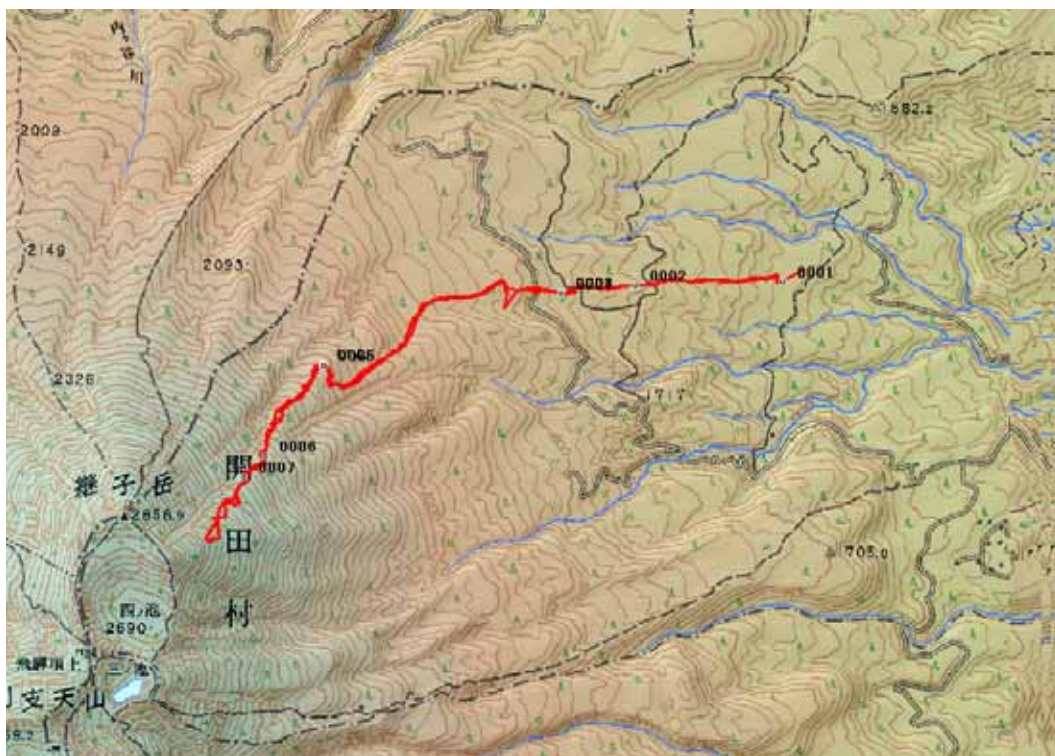
キーが振られる。山頂手前の地蔵の所でスキーをデポ。山頂まで10分位で到着(3063m/12時30分)。やや雲が出てきたので記念撮影をし早々に下山。滑りは早い。まだシュプールの無い広大なゲレンデを飛ばす。樹林手前で大休止。この頃になると雲が多く出てくる。山頂駅13時50分到着。滑り足りない二人は1回ゲレンデ滑走の後下山。御嶽明神温泉「やまゆり荘」に行ったが、連休のた



め駐車場の車の多さを見てあきらめて宿に入る。

5月4日(金)

宿のオーナー推薦のコース、マイヤスキー場より「継子岳ルート」を紹介していただく。スキー場は既に閉鎖されているのでスキー場(1540m)から板を背負っての出発だ。**8時45分** = 緩斜面のゲレンデ中を黙々と歩く。リフトの中間辺りからようやく残雪あり、シール登行でリフト山頂まで(10時40分)。



今日も上天気、目の前に乗鞍が素晴らしい。やや込み入った暗い樹林帯を歩く。古いシュプールが時々現れるが赤布は皆無。樹林がまばらになって来ると斜面も急になりクローつけて尾根に飛び出す。先には継子岳の急斜面が待ち構えている。谷を一つ隔てた斜面にテレマーカーのシュプールが見える。今日の山行に出会ったのはこの二人のみ。ややビビリながらも2700m地点に到着。タイムオーバー。山頂まで高度差150m位か。



どうにか板を付けられるスペースを見つけ滑降準備。斜度は35度位かな。転倒すれば樹林帯まで止まらないだろう。みんな緊張しながら斜面に飛び出す(12時50分)。雪質申し分なし。樹林帯まであつというまだ。大休止をとりゆっくりと昼食。後は登ったシュプールを頼りにスキー場に飛び出す。

5月5日(土)

天気は早めに崩れて来る模様なので、早々に帰京することにする。帰りがけの駄賃に高遠から入笠

山を登り帰京する。



次回参考

御嶽山のルートは何本があるので、宿に定着し日替わりで楽しめそうである。ルートの解説は「プチピラミ御嶽」のホームページで紹介されている。但し御嶽は独立峰なので風が強いため、3月頃からのが良い。天気が悪い場合は近場にいくつかのスキー場があるのでこれらを利用すると便利である。

初心者の方は雪質しだいで途中の「黒岩」辺りまで行けそうである。



(高島 記)

2007/5/3~5/6

鳥海山山スキー報告

コース案内

赤線 は、5月3日

熊の森 七ツ釜避難小屋

袂川ヒュッテ 善神沼

駒の王子

黒線 は、袂川ヒュッテ

七ツ釜避難小屋 山頂直下

七ツ釜滝 熊の森駐

車場

です。

コースタイム

5/3

熊の森 08:30

棚池 10:05

七ツ釜避難小屋 11:25

1650 ㍍ 12:20

袂川ヒュッテ 13:05

駒の王子へ

袂川ヒュッテ 13:15

善神沼下 13:47

中島台林道へ 14:20

中島台林道 14:50

駒の王子上 15:15

5/4

袂川ヒュッテ 08:35

七ツ釜避難小屋 10:00

2000 ㍍付近 11:40

2160 ㍍付近 12:35

下山

2160 ㍍付近 12:40

氷の薬師 13:05

七ツ釜滝付近 13:15

猿倉口入り口 13:25

(休憩)

熊の森駐車場 14:25



鳥海山山スキーへ参加して(一言)

柴田紘尚

ゴールデンウィークのスキーは交通機関を早めに手配することが最も重要なことでしたが、出遅れてしまいました。来年からは早めに行動をしていきたいと思います。来年は好天に恵まれて頂上から滑りたいものです。

皆森

天候が悪く山頂には行けなかったのが残念だった。その一方普段行かないルートを滑り、参加者の感想が好評で良かった。また次の機会にもぜひ参加して下さい。

伊達定治

鳥海山春スキーは7年前に知人2人とテント泊でやってきた。

晴天に恵まれ葎川、鉾立の両面の滑走を堪能した、また象潟漁港が在るため1泊はこの漁港の民宿に投宿、新鮮な海の幸と地酒をチビ、チビと夕日に映える鳥海山眺め感慨にしたった知人との思い出の地である。

今年は、久々に長い休みを取りそれを鳥海山春スキーに割り当てた。今回は参加者も多く、車の運転は二階堂さんである。従ってお気楽な春スキーとなった。

しかし幹事さんは大変だったと思う、天候不順も重なり苦慮が察しられた。勝れない天候で滑走できたのは2日間だけとなり、その1日は悪天候に襲われ七高山の直下まで届いたが登頂は、お預けとなった。しかし個人的には、「駒の王子」への滑走ルートは幼いブナ林が気持ちよく気に入ったコースの一つとなった。天候が良かったら、このブナ林でゆったりとしたコーヒープレークも良いだろうと思われた。また、いつの日か快晴に恵まれる鳥海山春スキーを期待して帰路に着いた。

二階堂耕司

鳥海山は夏も含めて初めてで、その山域の広さと暖冬にもかかわらず残雪の多さに驚きました。

滑降可能なスロープも多く、何十回行っても飽きない魅力ある山だと思います。今回はその何十分の一に触れただけだから絶対に又行きたいものです。

天候の悪化で頂上まで行けなかったのは少し残念ですが、それまで暖かかった気温が急に下がり天候の急変があったので、あの段階で下山を決定したのは適切だったと思っています。

東北の山で、この次期に大雪に見舞われたり猛吹雪になることは珍しくはないので、春山でもツェルトやスコップ等は個人装備として必携だと思います。

葎川から駒ノ王子へのブナの樹林もなかなか楽しかったです。この山域は力のあるリーダー無しには難しいところだと思いますので、的確な案内をしてくれた、大変謙虚な皆森さんと牧さんに感謝します。常にパーティー全体に細かく気を配り、ゆっくりペースで行動して頂けたことも、体重オーバー体力落ち目の私には助かりました。

近藤知子

昨年のスキー協(1日晴れて、葎川~七高山~熊の森)に参加し、2回目の鳥海山。でも、山スキーは毎回、状況が変わるんですね。

初日は、仮眠組を配慮して下さり、葎川ヒュッテから静かなブナの森を、林道に沿ってトラバース中心で滑ります。ふーっ、初体験です。木々の間を滑るのって難し~。疲れた~。

翌日は、七高山頂上を目の前に、あっという間に荒天につかまり、ブリザードでみるみる足もとが雪に埋まっていきます。山の力を見せつけられた思いです。

山では(それほどたくさんの経験はありませんが)、いつでも安全圏にUターンできるように、自分の今できる力を計りながら進んでいるつもりでしたが、今回は、「まだ大丈夫」と思える範囲と思えたのに、急激な状況の変化に驚きました。いい勉強になりました。

鳥海山はいろいろな出来事を包み込む、懐の深い、雄大な、すばらしい山です。

近況報告

笹木祐司

4/21 ~ 4/22 木曾御嶽

霧雨、ガスで山は少し登ったのみ。あとはゲレンデを滑る。長い距離を滑ろうというのでゴンドラ以外は休みなしで滑った。

5/3 ~ 5/42 木曾御嶽

リベンジ成功。2日とも晴天。山頂と継子岳を滑ることができた。

斉藤シゲ子

3/23 ~ 3/24 蓮華温泉・木地屋

労山山スキー学校。天候が良くなかったが快適に登り降り。

4/27 御岳山 ~ 大塚山

山桜、山ぶき、カタクリと花を楽しむ。

4/28 ~ 4/29 至仏山

三多摩山行、のんびり、ゆっくり景色を楽しみました。

5/9 鶴寝山

わさび田 ~ 小菅の湯 わさび田が素晴らしい。2輪草の群生というが少なくなっていた。カンアオイが咲いていました。

小村慶子

4/13 ~ 4/15 八甲田

城ヶ倉泊り、新雪も滑れ、情緒あふれる温泉も楽しめた。

4/22 ~ 4/24 三重県・滋賀県の山三つ

本シャクナゲが美しかった。

4/28 奥多摩 = 倉沢...滝入の峰...東日原 = 奥多摩

4/30 奥多摩

奥多摩湖の南側の岸沿いの道がオープンになったとの事で、歩いたが一日かかると思ってゆっくりすると楽しい。

5/3 ~ 5/5 鳥海山

天候の急変にもあい、いろいろな滑り、場所もいろいろ、また山菜も食べ、摘み、買い、楽しかった。

大川 淳

4/24 ~ 4/28 燕岳

上部は、雪は意外と多く、吹雪が多く、時間が少なかった。従って雪質がよく、厳冬期のイメージであった。

5/2 ~ 5/6 鳥海山

14年ぶりの鳥海山(クラブ創立時)であった。袈川からのコースがわかった。天気が余りよくなかった。

陶山 正

4/28 笠丸山(西上州)

両神山へ行く予定を変更して笠丸山へ。午後の天候悪化とメンバーの体力を考慮して赤ヤシオツツジの咲く山に行く。メンバーは、サラリーマン、文化芸術振興会の人たちと13人で。

4/29 赤久縄山(西上州)

山の会「かたつむり」で西上州一高い赤久縄山へ、早滝コース、急な登り、また急坂。頂上から富士山が見えた。期待通りの眺望だった。メンバーは男ばかりの6人。めずらしい花ハルノトラノオにも出会えました。

荒木正司

4/29 小仏城山

ゲレンデスキークラブ「つらら」の行事に久しぶりに参加。自宅からママチャリ経由。日陰東尾根約4時間。サイクリング&ハイキング。

吉原露子

4/4~4/13 スイス ヘリスキーとミニオートルート

毎日快晴、岩と雪の景色とロングコース、ヨーロッパのビッグゲレンデも楽しむ。

4/21~4/22 御嶽山

雨のため途中で断念。ゲレンデで練習。

4/2 たんばらスキー場

テレマークの練習。

5/3~5/42 御嶽山剣が峰と継子(ままこ)岳 峰、入笠山

総会を開催します

日時： 7月8日(日曜日)
午後1時から同5時

場所： 国分寺労政会館

議題： 1) 今期の行事活動を振り返って
2) 来シーズンにむけて
3) 財政について
決算報告・予算
4) 役員改選
5) その他

今シーズンは、暖冬・雪不足と心配していましたが3月中旬にはいると、雪不足を解消するかのように雪が降り、5月連休も相当雪が残っていました。山スキーを十分楽しんだのではないのでしょうか。

クラブに入っても参加する機会が無いなどが無いように、今シーズンを振り返りながら来シーズンはどこへ、あの斜面を。楽しい企画を考えましょう。

総会、もう一つ大切なことがあります。役員人事です。クラブ運営が円滑にできるよう一人一人が考え、みんなで荷を分かち合い三多摩山スキークラブを発展させていくことです。

では、総会でお会いしましょう。



5月の鳥海山スキー

今年のゴールデンウィークの山スキーはメンバーの現役連中の都合で後半、5月2日~4日で鳥海山にしぼる。

初日

5月1日、メーデーの後で飲もうという誘いに後ろ髪引かれながら早朝、雨の降り出した白山市を出発。低気圧の東進よりは早く新潟ではまだ降り出していない。酒田の最上川にかかる橋の上から、まだ十分に雪をまとった鳥海山が見える。しかし袛川林道あたりから雨が降り出し、袛川駐車場ではかなりの風雨。さらに風の強まる予報なのでここに一人での幕営は心細いので、林道を木境展望所まで戻って雨の中でテントを張る。

2日目

朝5時過ぎ、弟達(小坂、佐々木、今井)の車が到着。雨は止んでいるが厚い雲がかかり、予報は雷を伴った雨。風も強いので、袛川駐車場まで上がらずここにテントを張る。また雨が強くなり今日は停滞とする。

3日目

低気圧は通過し雨はあがったが風が残る。ゆっくり出発し9:20 袛川駐車場からシールを着けて登る。山頂付近を雲が流れ、かなりの風。10:50 避難小屋(EL1550m)で休み様子を見る。三多摩山スキークラブのパーティーがあがってくる。大川さんはじめ今シーズン初めてというひと何人か。七高山が見えてきたので出発するが、強い風、ザラメ状の雪片が顔に当たって痛い。1730m 付近まで登が降ることにする。遅れて登ってきた三多摩パーティーも滑降開始のよう。3月中旬以来のスキーだったが快適にすべる。

4日目

弟達は今日中に帰途につくので、早朝出発。袛川駐車場 6:45 登高開始。風は昨日ほどではない。気温が高くなりウインドブレーカー上下では汗をかく。山頂の雲はとれず、EL1900m 付近より上は厚いガスのなかをひたすら登る。左手に外輪山壁のハイマツが見えてきたらもう七高山直下で 11:15 に到着。下りも視界が効かないので慎重に数ターンごとに後続をまってすべる。豪快な滑降とはいかない。2000m 付近で登ってくる三多摩パーティーと会う。少し降ってやっと視界が効いてきて、快適にすべることが出来るようになる。写真を撮りながら楽しみ、12:23 袛川駐車場着。このところ定例化しているこの時期の鳥海山だが今年も長い滑降が出来てよかった。木境展望所のテントを撤収し 14:00 先に帰る弟達と6月立山での再会を約し別れる。仁賀保高原を経て、釜が台から鳥海山北面の大爆裂火口、山体崩壊地形、中島台のかなりかすんでいるが雄大な景色を眺める。泊まりは矢島口が正面に見える花立牧場高原キャンプ場。猿倉温泉で三多摩パーティーに合流して酒を酌み交わす手もあった。

5日目

あいにく夜半から雷雨、朝になっても厚い雲がかかり鳥海山は見えない。天気回復する予報もなく、早々に帰途につく。約570kmの旅を経て夕方帰宅。



川崎 敏

例会、運営委員会報告

5月例会報告.....

日時 2007年5月9日(午後7時30分~)

場所 国分寺労政会館

出席者 15名

議題 GPSの活用法(杉山氏)

GPSは、見通しの効かない樹氷原でも、ガスに巻かれた平坦なコースでも正しく衛星を受信できれば、かなりの精度で自分の位置を確認することが理解できたのではないのでしょうか。事前にポイントを登録し、行きたいポイントへの距離と方向を確認していけば、しかし。普段から使い方になれていないと、いざというときに、どのように使うか...

報告事項

八甲田(杉山)5名参加。木曾御嶽山(笹木)4名参加、至仏山(伊達)5名参加、鳥海山(長部)15名参加

行事計画

なし

討議事項

その他

総会の開催(7月8日)

6月の例会は、6月13日です。

時間は、7:30からです。

5月運営委員会報告.....

日時 2007年5月23日(午後7時30分~)

場所 国分寺労政会館

委員 川上、吉原、高畠、笹木、長部、

委員会概要、報告、議事内容:

5月会報について

企画部

5月例会について

会計

総会

総会日程 7月8日

入退会について

三宅さんから入会届がだされ、入会を承認しました。

次回運営委員会 6月16日 日曜日(午後1時00分から)

スキー協関係

東京スキー協

(当面の日程)

- 5月31日 第6回理事会
- 6月2日 第40回総会議案発送
- 6月7日 常任理事会
- 6月9日 競技スキー委員会
- 6月11日 第7回理事会
- 6月24日 第40回定期総会 中野勤労者福祉会館
来期方針に



41期(08年5月)から500円の会費値上げを提案

全国勤労者スキー協議会

40周年記念「スキーウェア」を販売

予約注文受付中 販売価格 15000円

クラブ間の交流と連帯をはかり、スキー協・クラブの存在を広くスキーヤーにアピール

デザイン・機能性 コストパフォーマンス、使いやすさを追求

耐水圧 20,000 mm

透湿性 10,000 g/m²

リップストップ生地

フード取り外し可能

縫い目シーム加工

多数のポケット

色々なポケットが充実

裏地は薄くて暖かいキ

ルティング加工

カラーは、3色

ブラック/ライトグレー/レッド

その他、以下のホームページをご覧ください

東京都勤労者スキー協議会(東京スキー協)

<http://www.cpi-media.co.jp/skikyo/>

スキー協通信掲載箇所

<http://www.cpi-media.co.jp/skikyo/tsusin/tsusin.htm>

全国勤労者スキー協議会(全国スキー協)

<http://www.mmjp.or.jp/wsaj/>

全国勤労者スキー協議会(全国スキー協)山スキー部揭示

<http://okuda0948.sakura.ne.jp/skikyo/light.cgi>



雑記帳

今月号は、報告が3点、総ページ数は10ページ。連休で20名以上の方が出かけたようです。

春は、やはり山スキー。新雪・深雪も楽しいが、自然との対話、ゆとり、のんびり、そんな中でスキーを楽しむには春ですね。道具を整備して、来シーズンへ備えておかなければ。シールの糊が乾いてしまってます。何とかもったものの。5月12日、針の木にいつてシールを外そうとしたら、力いらず横にしたら。乾雪でもったものの水分

がシールにしみこんでいました。

ねじ、ピン。疲労で亀裂が？ 昔はプラスチックの脆性破壊が問題になったが、古くなったら気をつけなければ、とってやすすくないし...

定率減税廃止とか、所得税と住民税の組み換えなどといって逃げようとしている政府・政党もあるが、なんだかんだと増税。参議院選挙が終われば消費税アップ...

スキーを楽しむのも大切なこと。とりあえずオフシーズンに、7月22日に参議院選挙投票日。平和と暮らし、安心してスキーが楽しめるようになってほしいものである

三多摩山スキークラブ会報(2007.6 170)

発行 川上邦夫

編集 長部保雄

ホームページ編集 大槻 真人

<http://www.asahi-net.or.jp/~xi7m-ootk/backnumber.htm>

発行連絡先

180-0013

武蔵野市西久保 3-25-7-303

Tel/Fax 042-253-7289

2007.6.10 発行